

平成28年度 学校関係者評価表

県立清武せいりゅう支援学校

○ 下記の各項目に対する評価をA～Dの該当する欄に○印をつけてください。

A 大変良い B 概ね良い C もう少し努力が必要 D 改善すべきである

1 学校運営		A	B	C	D
①	学校経営方針や教育目標・努力事項を踏まえた取組ができているか。		○		
②	学校が組織として機能しているか。(学部間、校務部間、職員間の連携・協力など)		○		
③	諸会議は、検討、確認、共通理解の場となっているか。(職員会議、運営委員会、各種委員会など)		○		
④	保護者や外部に対して、学校から必要な情報が発信され、連携がとれているか。		○		
⑤	緊急時における危機管理体制がとれているか。		○		
2 学部関連		A	B	C	D
①	学部経営の目標や努力事項を踏まえた取組ができているか。		○		
②	学部が組織として機能しているか。(課程間、学年間、学部職員間の連携・協力など)		○		
③	学部会は、必要な事項の検討、確認、共通理解の場となっているか。		○		
④	学部の児童生徒の実態に応じた計画的で適切な行事等が安全に実施ができているか。		○		
⑤	保護者や外部に対して、学部から必要な情報が発信され、連携がとれているか。		○		
3 校務部関連		A	B	C	D
①	校務分掌等の目標や努力事項を踏まえた取組ができているか。		○		
②	校務部が組織として機能しているか。(各係間、校務部内職員間の連携・協力など)		○		
③	校務部会は、必要な事項の検討、確認、共通理解の場となっているか。		○		
④	児童生徒の実態に応じた計画的で適切な行事等が安全に実施できているか。		○		
⑤	保護者や外部に対して、校務部から必要な情報が発信され、連携がとれているか。		○		
4 学級関連		A	B	C	D
①	学級経営の目標や努力事項を踏まえた取組ができているか。		○		
②	学級職員間の連携・協力はうまくできているか。		○		
③	学級の児童生徒の実態に応じた計画的で適切な行事等が安全に実施できているか。		○		
④	保護者との情報交換や共通理解がとれ、お互いに連携・協力ができているか。		○		
⑤	児童生徒の現在と将来を見通した個別の指導計画及び個別の教育支援計画が作成され、実践に活かされているか		○		
5 教育活動		A	B	C	D
①	児童生徒の実態に応じた適切な教育課程が編成されているか。		○		
②	児童生徒の実態に応じた教科・領域の授業計画や実践がなされているか。		○		
③	学習効果を上げるための教材・教具の工夫と活用がなされているか。		○		
④	児童生徒の現在と将来を見通した指導・支援(学習面)が、なされているか。		○		
⑤	安全面を十分考慮した学習及び行事計画や実践がなされているか。		○		
6 保健・安全面		A	B	C	D
①	児童生徒の健康状態や状況について、保護者やセンター及び保健室との連携はとれているか。		○		
②	食事や水分補給、トイレ支援、自立訓練等は、安全にできたか。		○		
③	児童生徒の実態を考慮して、衛生面や健康面に関する指導・支援が計画的になされているか。		○		
④	施設・設備や教材・教具等の安全点検や安全な活用がなされているか。		○		

7 児童生徒の指導・支援		A	B	C	D
①	児童生徒の現在と将来を見通した指導・支援（生活面）がなされているか。		○		
②	保護者との連携による基本的な生活習慣形成等の指導・支援が行われているか。		○		
③	児童生徒の問題行動等に対する共通理解や協力体制はできているか。		○		
④	こども療育センターとの連携による適切な指導・支援がなされているか。		○		
8 進路指導		A	B	C	D
①	児童生徒の実態及び将来を見通した適切な進路指導がなされているか。		○		
②	児童生徒の自己理解・職業理解を図るための計画的な進路学習がなされているか。		○		
③	児童生徒の進路について、保護者や関係機関との連携がとれているか。		○		
④	進路に関する情報収集や提供が十分できているか。		○		
9 職員研修		A	B	C	D
①	児童生徒の実態を踏まえた効果的な指導法等の研究や改善がなされているか。		○		
②	校内研究や専門性向上等の各種研修は実践に活かされているか。		○		
③	ニーズに応じた研修の場が設定されているか。		○		
④	自らの専門性を高めるために、外部での各種研修に積極的に参加しているか。			○	
10 交流活動		A	B	C	D
①	学校間交流は、相手校との共通理解の下、効果的に実施できているか。		○		
②	居住地校交流は、保護者及び相手校との共通理解の下、効果的に実施できているか。		○		
③	地域（学校周辺、居住地周辺）との交流は、保護者の協力の下、実施できているか。		○		
11 教育環境		A	B	C	D
①	安全で快適な教育環境を目指した校内の整備がなされているか。		○		
②	学校の施設・設備は、効果的に利用されているか。		○		

12 関係機関との連携		A	B	C	D
①	教育・就学相談、学校見学等への対応は、適切に実施できているか。		○		
②	関係機関（教育、福祉、医療、行政 等）との連携はとれているか。		○		
13 その他		A	B	C	D
①	教育的ニーズに応じた適切な予算措置及び予算執行がなされているか。		○		
②	児童生徒の実態に応じた学校給食の提供がなされているか。	○			
③	保護者や外部に対する電話の応対や来客への対応は丁寧であるか。		○		

【コメント・メッセージ】

項目「自らの専門性を高めるために、外部での各種研修に積極的に参加しているか」をCとした理由は、職員アンケートにおいてCと回答した割合が30%を超えているからです。外部研修の場合、興味・関心のある内容であったとしても、日時や場所等の理由で参加できないことがあるかもしれません。そのため、校内研修や校内研究の体制を整備し、先生方にとって実のある研修を受けられるようになることを期待します。また、項目「児童生徒の実態に応じた学校給食の提供がなされているか。」をAとした理由は、職員アンケートにおいてAと回答した割合が30%を超えているからです。学校給食の提供が自校方式であるが、児童生徒の一人ひとりの食事形態に応じて用意すること、さらに提供する人数に比して施設設備が限られていることを鑑みるとAに値する。学校給食には食事指導、摂食指導の側面があることから、不注意等に気を付け、Aと回答する割合がより増えるよう取り組んでいただきたいです。

保護者からは、先生方の専門性の高さ、マニュアル的ではない温かい対応、PTAの諸活動へ理解の深さについて感謝の言葉がありました。PTAが活発に、かつ前端的に取り組まれているのは先生方の協力があるからです。引き続き、保護者、福祉ゾーン、地域との関わりを増やし、一歩深い交流が継続されることを願います。